

病理診断科



専門医資格等
細胞診専門医
死体解剖資格

病理診断科長
森吉 弘毅



専門医資格等
病理専門医、研修指導医
細胞診専門医
死体解剖資格

病理診断科長
寺島 剛

平成28年4月1日現在

□ スタッフ

平成27年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等
病 理 医 師	新宅 雅幸	日本病理学会専門医研修指導医 日本臨床細胞学会専門医
主任臨床検査技師	木村 明	日本細胞検査士 国際細胞検査士
主任臨床検査技師	池田 俊彦	日本細胞検査士 国際細胞検査士
臨床検査技師	大上 哲也	日本細胞検査士 国際細胞検査士
臨床検査技師	谷畑和可苗	日本細胞検査士
臨床検査技師	永阪麻衣子	

□ 科の特徴

1. 病理医2名でダブルチェックを行い、診断精度の向上を図っています。
2. 細胞検査士の資格を持つ検査技師と協力し、細胞診業務を行っています。
3. コンサルテーション等で京大病院病理診断科との協力体制を築いています。
4. 組織診、細胞診、術中迅速診断、病理解剖、CPCのいずれについても正確かつ迅速な診断を心がけています。
5. カンファレンス等を通じて臨床医とのコミュニケーションを図ることで、より臨床の現場に即した診断が行えるよう努めています。

□ 診療(業務)内容

1. 組織診断: 生検や手術によって採取された検体に対し、良悪性の判定、炎症の有無などを調べ、診断名を確定します。また、治療効果や腫瘍のステージ、転移の有無などの判定を行い、以後の治療方針の決定に役立てています。2015年は8007件の組織診断を行いました。
2. 細胞診: 子宮頸部擦過、尿、喀痰、甲状腺やリンパ節の穿刺などによって得られた細胞を観察し、良悪性の判定を行います。2015年は8448件の細胞診を行いました。
3. 他院標本診断: セカンドオピニオンや転院によって当院を受診された患者さんが持参された標本を改めて検討し、診断の確認を行っています。2015年は組織診99件、細胞診56件の他院標本診断を行いました。
4. 術中迅速診断: 手術中に提出された検体を15-20分程度で診断し、手術範囲や術式の決定に役立てています。2015年は429件の術中迅速診断を行いました。

5. 病理解剖:亡くなられた患者さんのご遺体を解剖し、病態を詳しく調べて、生前に分からなかった事も解明しています。2015年は15件の病理解剖を行いました。
6. CPC:臨床各科と合同で病理解剖症例の検討を行い、様々な視点から病態を調べて、今後の診断や治療に役立てています。また、研修医と共に発表を行い、医学教育に寄与しています。
7. カンファレンス:臨床各科と定期的にカンファレンスを実施し、臨床情報と病理所見の摺り合わせを行っています。また、手術検体の切り出しの際の外科医立ち会いや、個別症例についてのディスカッションを通じて臨床医とのコミュニケーションを図ることで、より臨床の現場に即した診断が行えるよう努めています。

□ 投稿論文など

著者	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No	page	発行年 および月
Masato Narita, Keita Hanada, Koki Moriyoshi, Ryo Matsusue, Hiroaki Hata, Takashi Yamaguchi, Tetsushi Otani, Iwao Ikai	Laparoscopic Resection of an Epidermoid Cyst Arising from Intrapancreatic Accessory Spleen	Journal of the Pancreas.	17	S1	138-141	2016.2
Narita M, Moriyoshi K, Hanada K, Matsusue R, Hata H, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I.	Successful treatment for patients with chronic orchialgia following inguinal hernia repair by means of meshoma removal, orchiectomy and triple-neurectomy.	International Journal of Surgical Case Reports.	16		157-161	2015.10
徳永茉莉, 渋谷真美, 岡本奈都子, 山本鉄郎, 十一英子	【ウイルス感染症】陰部潰瘍と口唇・口腔内潰瘍を認めたサイトメガロウイルス感染症の1例	皮膚科の臨床	57	4	399-403	2015.4
岡本奈都子, 野々村 優美, 林雄二郎, 山本 鉄郎, 十一英子	皮下結節の生検から多臓器症状の診断に至ったIgG4関連疾患の1例	臨床皮膚科	69	6	421-426	2015.5
Shintaku M, Maeno K	Prominent apical cytoplasmic bleb formation in metanephric adenoma: report of a case.	Medical Molecular Morphology.	49	1	57-61	2015.10
Shintaku M, Adachi Y, Takeuchi Y, Yamamoto D, Koyama J.	Post-radiation fibrosarcoma of the cerebrum associated with a prominent, lace-like, perivascular, desmoplastic change.	Neuropathology.				2015.11 on line